

夢みるこども 基金だより



イメージキャラクター
はミング・はっくん

発行：夢みるこども基金事務局
〒814-0104 福岡市城南区別府 1-21-6 アストア別府 801 号
TEL.092-400-0005 FAX.092-400-0339
E-mail jimukyoku@yumemirukodomo.jp
HP <https://www.yumemirukodomo.jp/>

No.29

2024年(令和6年)10月1日第29号

夢みるこども基金

検索



▲製作したロボットで遊ぶこどもたち

30回目のイベント『ロボット作り』の夢を

「僕の作ったロボットが動いた!」——自分が組み立てた
模型のロボットが力強く動き出すのを見たこどもたちが
ら口々に喜びの声が溢れました。

全国の歯科医院のご協力をいただき、開催されてきたイベントは今回30回
を迎え、「夢みるこども基金30年の思い」をテーマに3月23、24日に佐賀市三
瀬村、福岡市で開かれました。新型コロナウイルスが5類に移行してから初め
てのことも会議、イベントとなった今回、ほとんどがマスク無しでの参加とな
り、こどもたちの元気な笑顔が弾けました。

イベント初日は、たっぷり自然を体験したいというこどもたちの希望に応
え、今回初めて午前中からの開催となり、雨模様ではありましたが佐賀市の
「フォレストラボ」(森林学習展示館)で、しっかりと森や自然の仕組み、森の大
切さについて学びました。雨の止み間を待ってとなりましたが、基金の森では
緑の木々が天然の傘となり、ブランコや秘密基地づくりなど楽しみ、早春の森
に喜びの声がこぼれました。

イベント二日目は福岡市の西南コミュニティセンターを会場に、ロボットコ
ンテスト全国大会などで活躍の熊本県立御船高校の山中宏之先生から丁
寧な手ほどきを受け、こどもたちは動く模型のロボット製作に取り組みまし
た。はじめは慣れない手つきで恐る恐るだったこどもたちもすぐに夢中にな
り、器用な子が年少の子をサポートするなどして協力し、次々に完成してゆ
きました。新聞、テレビの取材にも堂々とした受け答えで、ひとつの経験が大
きな自信につながった様子でした。「肥後ちゃんかけこま」体験では、保存会の
皆さんの妙技に歓声を上げるや競うように駒回しに挑戦、失敗にめげずに
時間の限り何度も熱く挑み続けました。エンディングではコロナ禍以来控え
ていたアグネス・チャンさん作詞作曲の基金テーマ曲「ドント・ストップ・マイド
リーム」を久しぶりに全員で高らかに歌い上げ、万雷の拍手の中で閉幕。復活
の手応えを確かめたものでした。

基金が発足して30年。かつて「こども」として参加した人が今や立派な社
会人として各方面で活躍する「方、理事やスタッフとして基金を支えてくれ
るようになっていきます。『あの日の経験と仲間との出会いが貴重な思い出とな
り、進路選択にも大きく影響した』と彼らは口を揃えます。次の世代に人を
残す——これこそが基金の願いです。支えていただいている歯科医院をはじ
めとする皆様の想いを胸に、今後も基金は歩んでまいります。(中原 淳一)

工作や基金の森での自然体験 活動で交流を深める



▲箸作り体験

命作業に取り組んでいました。近年は図画工作などの授業で、ノコギリを使う機会が減っている、もしくは無くなっているそうです。今回子どもたちにとって貴重な体験になったのではないのでしょうか。

また、檜(ヒノキ)をかんざしで削って作る箸作りにも挑戦。初めは力の入れ具合が分からなかった子どもたちも、最後にはスムーズにかなを扱っていたのが印象的でした。削った檜のかけらからは森林浴をしているような良い香りがして、子どもたちは袋に入れて持ち帰っていました。



▲丸太切り体験

ちから「美味しい」と大変好評でした。昼過ぎから天気が少し回復し、基金の森へと移動しました。森の中ではNPO法人ビッグ・リーフの専務理事・久保基行さんが講師となり、子どもたちは実際に土や葉っぱを触ったりしながら森の役割などについて学びました。



▲土や葉っぱを調べる子どもたち

を輝かせながら思い思いに楽しめました。終了間際には「楽しかった」「また来たい」という声を聞くことが出来ました。

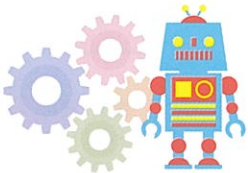
その後、夕食会場である「さうおバーベキューガーデン糸島」(福岡市西区)へ移動。肉や野菜、海鮮のバーベキューを楽しみました。食後は砂浜に設置されている遊具などで子どもたちは遊び、参加者同士の交流が一層深まりました。



▲巣箱設置



『ロボットを作りたい』 子どもの夢を実現



▲▼ロボット作りに挑戦



翌24日は、西南学院大学・西南コミュニティセンター(福岡市早良区)で開催。午前中は、熊本県立御船高等学校・電子機械科教諭の山中宏之先生のご指導のもと、ボクサーのようにパンチする工作ロボット作りに挑戦。ご家族に手伝ってもらいながらドライバーやペンチなどを使い、子どもたちは見事にロボットを完成させました。完成後はさっそくロボット同士を対戦させ、会場には子どもたちの笑い声が溢れました。

午後からは第30回「わたしのかなえたい夢」作品コンクールの表彰式も行われました。賞状と記念の盾を受け取った子どもたちは席に戻ると互いに見せ合い、喜びを分かち合っていました。

その後は熊本市無形文化財の「肥後ちよんかけごま」体験。肥後ちよんかけごま保存会の皆様にご協力いただき、まずは難しい技の数々をご披露頂きました。会場からは「うわー」「すごい」などの声が続出し、子どもたちは空中を飛び回るごまに魅了されていました。次は実際にこま回しに挑戦。コツを掴むのが難しく、子どもたちは悪戦苦闘していたようですが、最後には上達して笑顔も見られました。遊びながら伝統文化を学べる貴重な体験となりました。

休憩をはさみ、次は夢みることも基金の中澤剛理事による防災に関するお



▲表彰式で絵を披露する邵くん



▲山中宏之先生

話。災害時の非常用トイレの作り方を分かったり、口で面白い切り口で語って下さり、子どもたちも終始興味を持って聞いていました。

その後は午前中のロボット制作で講師をして下さった山中宏之先生によるロボット披露。熊本県立御船高等学校の生徒さんが作ったロボットをお持ち下さいました。リモコンで自由自在に動き回り、物を掴んで持ち上げることも出来るロボットで、間近で見たい、操作してみたいという子どもたちがステージに殺到しました。時間の関係上、全員が操作することは出来ませんが、ロボットを見つめる子どもたちの嬉しそうな表情がとても印象的でした。



▲肥後ちよんかけごま体験

続いて、昨年もイベントにご出演頂いた古木雅士さんのピアノ演奏。「春よ、来い」「荒城の月」のほかオリジナル曲も2曲ご披露頂き、会場は透き通るような癒しの音色に包まれました。最後は参加者全員で基金テーマ曲「ドント・ストップ・マイドリーム」を歌い、イベントは閉会しました。

ご支援頂いている協力歯科医院の皆様のおかげで、夢みることも基金は第30回という節目のイベントを開催することが出来ました。これからも関係者一同、子どもたちの「夢」の応援団として頑張ります。

(緒方 太郎)



イベント取材

イベントのロボット製作の模様をRKB毎日放送と西日本新聞に報道していただきました。ありがとうございました。



令和6年(2024年)3月25日 西日本新聞朝刊

こども基金

作品コンクールの上位入賞者が出席して春休みに開催するイベントの内容を決める第30回「こども基金」対面・オンラインのハイブリッド形式が2023年12月10日、電気ビル共創館(福岡市中央区)で開かれました。

こども基金には、「わたしのかなえたい夢」をテーマに全国の小学生1503人の作文・絵の応募者の中から選ばれた6人とその兄弟など2人の計8人が参加しました。

岡部知剛理事長の挨拶の後、中原淳一理事が司会・コーディネーターとなり、こども基金が始まりました。



よりました。こどもたちからは「木登りがしたい」「天体観測をしたい」「ヤマメを釣りたい」「森に巣箱を設置したい」「踊るロボットを作りたい」「網渡りをしてみたい」など活発な意見が出されました。会議の結果、「森で活動をした」「ロボットを作りたい」というこどもたちの意見を踏まえ、春のイベントでは基金の森での自然体験活動やロボット作りなどを行うことに決まりました。

イメージキャラクターはミンギ・はっくん



歯医者さんありがとう

参加したこどもたちからのメッセージ

(※学年はイベント参加当時)

名前	県名	学校名	学年	メッセージ
安樂 礼享	福岡	福岡市立玉川小学校	5年	表彰状授与式だけではなく、たくさんの体験をできたことを、とても嬉しく思います。中でも基金の森で丸太切りをしたことが一番楽しかったです。森林の役割を学び、改めて自然を大切にしようと思いました。貴重な経験ができたのは、歯科医のみなさまのおかげです。ありがとうございました。これからも私たち子どもの夢を応援してください。
山本 さくら	福岡	福岡雙葉小学校	1年	歯医者さん、素敵なイベントを開催して下さいありがとうございました。基金の森の澄んだ空気や柔らかい土の感触、著作で削ったヒノキの香り、両手の上でくるくると回るちょんかけこま、自分で作ったロボット。目を閉じると楽しかった思い出が次々とよみがえってきます。イベントでの体験は私の宝物です。これからも自分の夢に向かって頑張ります。
辻野 都香	兵庫	姫路市立広畑第二小学校	5年	今回のイベントで沢山の貴重な経験ができました！これからもお仕事頑張って下さい！
外山 翼	熊本	熊本市立錦ヶ丘中学校	1年	普段は経験できないようなことを多く楽しむことができました。特に、鳥の巣箱を設置したのは初めてのことで、とても良い体験でした。また、BBQでは満足感たっぷりの夕食となりました。このようなことができたのは歯科医の方たちのおかげですので、感謝したいです。夢みることも基金さん、お世話になりました。
岡田 芽依	香川	多度津町立豊原小学校	3年	歯医者さんのおかげで、普段経験することができないような体験ができました。この貴重な経験を大切に活かしながら、これからも夢に向かってがんばっていききたいと思います。ありがとうございました。
清水 詩花	鹿児島	鹿児島市立瀬々串小学校	2年	歯医者さんが、虫歯の治療をするほかに、たくさんの子どもたちの夢のためにおうえんしていることを知ってすごいなあと思いました。夢みることも基金で会えた皆さんに元気をもらってパワーアップしたので、これからもたくさんがんばってぜったいに夢を叶えます！本当にありがとうございました。
十川 世怜	香川	高松市立新番丁小学校	6年	この度は春休みの素敵な思い出になりました。ありがとうございました。みんなの夢を聞いてもっと夢に向かって頑張ろうと思いました。今はゴミ工場に行ったり、大地の再生をしたりしています。また皆さんに会えることを楽しみにしています。
邵 軒	福岡	明治学園小学校	4年	歯医者さんのおかげで、今回のイベントではたくさんの体験をさせていただきました。ありがとうございました。みんなの夢を支えてくれて、心から感謝します。
坂田 湊	福岡	福岡市立吉塚小学校	1年	自分だけでは、出来ない体験をやらせてくれてありがとうございました。また、絵を頑張って描き続けたし、またみんなに会えたら嬉しいです。
佐伯 京祐	徳島	阿波市立柿原小学校	1年	基金の森で自然体験ができて楽しかったです。ありがとうございました！！
佐藤 珀斗	東京	東京都北区立浮間小学校	4年	2年連続参加しました。とても楽しくて友だちもたくさん出来て楽しい思い出になりました。歯医者さんありがとうございました。ぼくも夢をかなえるため、たくさん勉強してりっぱな大人になりたいです。
松田 日奈子	兵庫	神戸市立横尾小学校	6年	今回、私の大好きな絵を描くことで表彰していただき、大変うれしく思います。初めて会う同世代の人たちとすぐに仲良くなれるプログラムで楽しめました。ロボット作成やこま回しなど普段できない体験もさせていただき感謝しています。夢に向かって突き進むのは自分の努力もありますが、大人達の支えあってこそなんだという人の方の話を聞いて思いました。これからも子供たちの応援よろしくお願いします。本当にありがとうございました。
河田 昊大	大阪	大阪市立清水丘小学校	1年	歯医者さんありがとうございました。初めて福岡へ行けていろいろと体験出来て楽しかったです。
長谷川 すずな	東京	東京都足立区立東伊興小学校	1年	表彰式だけでなく色々な体験ができました。そこに行けなかったら知り合えなかった友達もできて、うれしいです。私の宝物が増えました。また選んでもらえるように次も頑張ります！
外川 美来	福岡	福岡市立西新小学校	2年	歯医者さん、いつもありがとうございます。これからも、パン屋さんの夢・作家の夢・操縦士の夢に向かって頑張ります。
森 皇次朗	山口	岩国市立錦清流小学校	2年	初めて会うお友達という色々な体験ができて楽しかったです。また絵が選ばれてイベントに参加したいです。ありがとうございました。
植田 仁	福岡	福岡市立城南小学校	4年	夢みることも基金さん、いろいろな貴重な経験をさせてくれてありがとうございます。特に、ボクシングするロボット作りが楽しかったです。ありがとうございます。
フィッテリー 鷹山ダニエル	鹿児島	鹿児島市立名山小学校	3年	新しい友達が出来て、もっと遊びたかったけどとても楽しかったです。歯医者さん、僕達の為にこの様な素敵なチャンスを与えてくれて有難うございました。
外川 莉音	福岡	福岡市立西新小学校	2年	素敵な体験を、ありがとうございました。これからも、美しいピアノを弾くことが出来るように頑張ります。

第6回「夢みるこども基金」チャリティーコンサート



▲田中さんの伴奏で独唱する岡部理事長

『音楽の力』でこども基金の仲間を増やそう

スキー、リヒャルト・シュトラウスの歌曲、日本の抒情愛唱歌「浜辺の歌」。「さくら横ちょう」その後はドニゼッティのオペラ「愛の妙薬」から名曲の人知れぬ涙を熱唱されました。

第二部後半は岡部さんの声楽の師であるソプラノ歌手の加来京子さんの登場です。フランス歌曲の「クロリスに」、「中国地方の子守歌」、「おかあさん」を披露後、マスターの「花占い」、ヴェルディのオペラから「アヴェ・マリア」を朗々と熱唱されました。

また、アンコールでは田中さんはシューマンの「トロイメライ」、岡部さんは「秋のあじさい」(星野富弘作詞・なかにしあかね作曲)、加来さんは「からたち花」(北原白秋作詞・山田耕筰作曲)をご披露頂き、観客の皆さんから温かい拍手が送られました。

今回のコンサートも音楽による世界巡りでした。ドイツからスタートし、イタリア経由で、日本に到着いたしました。日本を取り巻く世界は戦争や内乱、自然破壊などが進んでおりますが、ご来場の皆様には心を癒す音楽の調べに浸って頂けるひとときになったのではないかと思います。

コンサートの収益金は夢みるこども基金に寄付いただきました。皆様のご支援、誠にありがとうございました。(安藤 公正)

2024年4月14日(日)、西南学院大学東キャンパスの西南コミュニティセンターにて第6回夢みるこども基金チャリティーコンサートが開催されました。今回も前回に引き続き司会を私、安藤(夢みるこども基金理事)が務めさせていただきました。

第一部は夢みるこども基金を支える会会長の嶋田英敏の挨拶で開式。その後、「魔法のピアノ」を展

示した。第一部は夢みるこども基金を支える会会長の嶋田英敏の挨拶で開式。その後、「魔法のピアノ」を展

示した。第二部前半は歯科医で夢みるこども基金理事長の岡部知剛さんによるテノール独唱。チャイコフ

開し好評のピアノリストの田中正也さんによりメンデルスゾーン「春の歌」、「プロフィエ」ロミオとジュリエット、グラナドス「スペイン舞曲集」、「ベートーヴェン」熱情のピアノ演奏が情熱深く繰り広げられました。田中さんには選曲もさることながら親しみを込めて曲の紹介もしていただきました。

第二部前半は歯科医で夢みるこども基金理事長の岡部知剛さんによるテノール独唱。チャイコフ

1995年
▼
2024年

夢の実現イベント

これまでの夢みる子ども
キャンペーン



イメージキャラクター
はミンゴ・はっくん



第1回



第2回



第5回



第6回



第10回



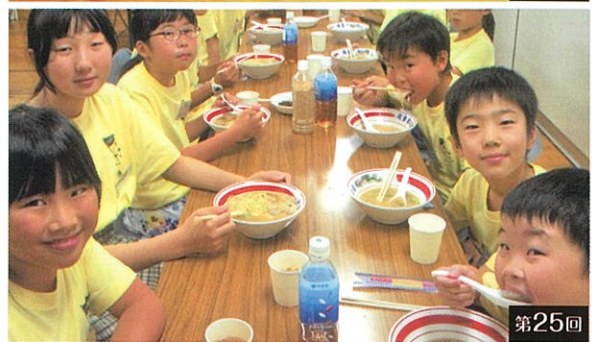
第19回



第24回



第21回



第25回



第30回

第27回
2021.8

イベント中止・3団体に助成金を支援
新型コロナウイルスの感染拡大で夏のイベントは中止となった。協力歯科医院の先生方から基金に寄せられた浄財を形にするために、熊本県益城町の子ども地域食堂「はなえみ食堂」、宮城県女川町の「女川1000年後のいのちを守る会」、福岡市城南区の「福岡大学病院・小児病棟」の3団体に助成金各50万円を贈った。

第28回
2022.3

イベント中止・2団体に助成金を支援
新型コロナウイルスの感染拡大でイベントは中止となった。協力歯科医院の先生方から基金に寄せられた浄財を形にするために、認定NPO法人横浜子どもホスピスプロジェクト「うんとそらのおうち」へ助成金50万円、バングラデシュの「夢みる子ども基金学校」へ助成金30万円を贈った。

第29回
2023.3

みんなで作る『緑の地球』
新型コロナウイルスの影響で4年ぶりのイベント開催となった。「地球環境保護」をテーマに「夢みる子ども基金の森」での植樹や福岡市西区今津海岸の清掃などを通して環境問題について学んだ。

第30回
2024.3

夢みる子ども基金30年の思い
「夢みる子ども基金の森」での自然体験活動、ヒノキの箸作りなどの工作、ロボット製作、肥後ちゃんかけごま体験などを行い参加者同士が交流を深めた。また、基金の森では森林保全についても学んだ。

第22回
2016.7

大地震について学び支え合う～被災地の子どもたちと結ぶ～
阪神淡路、東日本、熊本の被災地の子どもたちが集結。大地震について学び、助け合うことを誓った。

第23回
2017.7

夢を叶える子どもたち～羽ばたけ未来へ～
23年間の基金の活動の中で、子どもたちがどのように成長し夢を叶えたか、夢に向かって努力しているか、などを「先輩」たちが語った。その後中学生も、現在追いかけている夢を発表した。

第24回
2018.7

耳の不自由な人のために聴導犬を育てたい
小学生の作文をメインテーマに長野県から聴導犬2頭を招いて犬のトレーニングを見学。盲導犬も加わり「触れ合いコーナー」も開かれ募金も行った。

第25回
2019.8

新時代の基金が目指すもの
過去のイベントに参加した3人の代表が基金との思い出などを語り、今後の基金のあり方などについて提案をした。ラーメン作りも行った。

第26回
2020.7

イベント中止・盲導犬を寄贈
新型コロナウイルスの感染拡大で夏のイベントは中止となった。協力歯科医院の先生方から基金に寄せられた浄財を形にするために、九州盲導犬協会に4頭目の盲導犬「はっくん4号」を贈った。

第17回
2011.7

東日本大震災被災地と結ぶ絆～子どもシンポジウム～
宮城県女川町の中学生4人と教師を招き、「子どもシンポジウム」を開催。震災への対応や、新エネルギーなどについて話し合い「子ども宣言」として発表した。2011年末に3頭目の盲導犬を寄贈した。

第18回
2012.7

夢と宇宙と森と
佐賀市三瀬村にある、かやぶき屋根の「やまびこ交流館」で星の観察会、蚊帳での宿泊を体験。「夢みる子ども基金の森」で林業体験、秘密基地作りを通して自然を学んだ。

第19回
2013.7

東日本大震災被災地と絆を強く～石碑建立支援プロジェクト～
宮城県女川町の「いのちの石碑建立プロジェクト」を応援する街頭募金を行い、防災についてのシンポジウムを開いた。「夢みる子ども基金の森」では自然観察などを楽しんだ。

第20回
2014.8

祝成人 夢みる子ども基金 新たな旅立ち
20年記念イベントを開催。過去のイベントに参加したOB・OGたちも参加し「夢」の巨大貼り絵制作や新進気鋭の作曲家の講演・ミニコンサート、「子ども意識調査」の発表などを行った。前夜祭では「夢みる子ども基金の森」でトランペットの生演奏、記念植樹をした。

第21回
2015.7

日本とバングラデシュの夢と絆の架け橋
夢みる子ども基金の援助で2000年バングラデシュに開設した「夢みる子ども基金学校」から副校長と中学生5人がイベントに参加。「合同イベント」は両国の子どもたちの悲願だった。

第12回
2006.7

いつか笑いがモノを言う～人生は笑顔から～
絵本の読み聞かせやマジックショーなどを行った。ドイツで心臓移植手術を受ける少女のために募金の応援をし、基金からも寄付金を贈った。

第13回
2007.8

夢と希望をメロディーに乗せて～子ども音楽祭～
子どもたちの歌の合唱、盲学校生の太鼓演奏、居合道などで交流を深めた。また、子どもたちとアグネス・チャン理事が福岡西方沖地震で被災した玄界島も訪問した。

第14回
2008.8

地球を守るために『子ども隊』出動
地球環境保護をテーマに「環境子どもサミット」を開き、佐賀県内の国有林に「夢みる子ども基金の森」を開設することや「環境子ども新聞」の発行を決めた。

第15回
2009.8

松林の中で環境音楽祭
福岡市と佐賀県唐津市で開催。福岡市中心部の公園などの清掃活動後、唐津市・虹の松原国有林で「環境音楽祭」を開催。唐津市内の4高校の brass band 演奏などで盛り上がった。

第16回
2010.8

「夢みる子ども基金の森」開設と「命」をテーマにしたイベント
佐賀県・脊振山系に「夢みる子ども基金の森」を開設。翌日は福岡市内で「命の現場をみつめて」をテーマにホスピス病棟などの慰問をした。

第6回
2000.8

アフリカの大地に根付け子ども達の願い
福岡県宇美町の農家で開催。内戦で苦しむスーダンへ食物の種子を収穫し、現地へ送った。

第7回
2001.8

バリアフリーの社会を作ろう
子どもシンポジウムを開催。バリアフリーについての意見を小泉首相や行政機関に届けた。また、九州盲導犬協会へ盲導犬1頭を寄贈した。

第8回
2002.8

世界の子ども達と交流
福岡市・ベイサイドプレイス博多で開催。「歌・踊り・食・遊び」を通じて国際交流を行った。食事のチケット代を留学生に寄付した。

第9回
2003.8

日本の心をイラクの子供達へ
日本古来の玩具(竹とんぼ、コマなど)やパッチワーク作りをした。教材費を添えてイラクの子ども達に贈った。

第10回
2004.8

子ども達が結ぶ10年の夢
福岡市で開催。1～10回までのイベントに参加した子どもたちが基金の「10年のあゆみ」を振り返り巨大な貼り絵を作った。盲導犬の歯科検診も行った。

第11回
2005.8

キャンペーンのふる里で新潟・山古志、福岡・玄界島の友と交流
地震で被災した新潟と福岡の子どもたちを熊本県阿蘇に招待して交流。ホームスティなどを通じて友情を深めた。

第1回
1995.7

阿蘇子ども出会の里
熊本県阿蘇に阪神淡路大震災で両親を亡くした子どもたちを招き交流した。

第2回
1996.7

阿蘇子どもみどり村
熊本県阿蘇で開催。筋ジストロフィーの少年バンドを招き、アグネス・チャン基金理事とジョイントコンサートなどを行った。

第3回
1997.7

世界の子どもと手をつなごう
バングラデシュ・カラムディ村から教師と子供3人を招き「夢みる子ども基金学校」の建設資金を贈った。

第4回
1998.7

夢の放送局
福岡市・キャナルシティ博多にて「夢の放送局」を設け、子ども達がそれぞれの夢と音楽を発信。「夢みる子ども基金学校」の募金も行った。

第5回
1999.8

ケーキがつなぐ友情の輪
熊本県南関町で大きなケーキ作りに挑戦。出来上がったケーキを見学施設へプレゼントした。第1回のイベントの子どもたちも参加した。

夢みるこどもキャンペーン・夢実現プロジェクトの流れ

- 1 作文・絵の募集**
(7月中旬～9月中旬)
毎年7月15日～9月15日まで「夢」をテーマに作文と絵を募集します。
- 2 審査**
(10月中旬)
理事・役員たちによる厳選な審査。
- 3 「こども会議」開催(12月)**
対面・オンラインのハイブリッド形式
- 4 夢の実現イベント開催**
(春休み)
作文・絵の上位入賞者を福岡市などで開催する夢の実現イベントにご招待

ご協力頂いている 歯科医院数 (都道府県別)	福岡県	235件	大分県	30件	宮城県	14件	長野県	10件	島根県	4件	鳥取県	1件
	東京都	141件	兵庫県	29件	青森県	13件	群馬県	9件	福井県	4件	富山県	1件
	神奈川県	42件	熊本県	27件	大阪府	13件	岡山県	8件	徳島県	4件		
	埼玉県	36件	佐賀県	24件	沖縄県	12件	栃木県	8件	滋賀県	4件		
	鹿児島県	35件	福島県	22件	香川県	12件	愛媛県	6件	奈良県	3件		
	千葉県	32件	宮崎県	19件	静岡県	11件	山形県	5件	京都府	3件		
	長崎県	31件	新潟県	17件	三重県	10件	岐阜県	5件	和歌山県	2件		
	北海道	31件	広島県	16件	茨城県	10件	山梨県	5件	秋田県	1件		
	山口県	31件	愛知県	14件	岩手県	10件	石川県	5件	高知県	1件		
全国合計 1,006件 令和6年4月1日現在												
新規ご協力歯科医院												
			●田中歯科医院(栃木県)									

夢みるこどもキャンペーン・協力歯科医院登録のお願い

夢みるこどもキャンペーンの詳細は、**ホームページ**をご覧ください。

* ホームページからのお申し込みはこちら

PC	スマートフォン	携帯電話	TEL
https://www.yumemirukodomo.jp		QRコードから	基金事務局
夢みるこども基金		検索	☎092-400-0005

* FAXでのお申し込みはこちら

住 所	〒		
医 院 名	ふりがな		
院 長 名	ふりがな		
T E L	()	—	
F A X	()	—	

*ご登録を頂きましたら、事務局から回収箱などをお送り致します。 *登録費、年会費はございません。

*定期回収は毎年秋ですが、補綴金属は随時受け付けています。少量でも結構です。

※金属の回収方法は裏表紙に掲載しております。

	ご登録FAX番号▶ FAX:092-400-0339
※必要事項を記入のうえ、右のキリトリ線から切り取りFAXをお送りください。	

定期理事会

夢みるこども基金の令和6年度定期理事会が2024年5月20日、夢みるこども基金事務局(福岡市城南区)で対面・オンラインのハイブリッド形式で行われました。

議事の第1部、第1号議案「役員改選」、第2号議案「実行委員委嘱」は全ての人事案が承認されました。この後、中原淳一理事より令和5年度の活動報告と補綴金属の回収報告がありました。令和5年度の補綴金属は回収件数92件、総重量は19、916gで前年度を下回りましたが、金属相場の後押しもあり収入が大幅に落ち込むことはありませんでした。

人 事

※敬称略、50音順

理 事 長	▽再任	岡 部 知 剛	おかべ歯科医院院長、日本歯科放射線学会専門医
常 任 理 事		植 木 とみ子	元福岡市教育長、ユーテラス合同会社代表社員
		岡 部 知 剛	(前記)
		岡 部 憲 和	夢みるこども基金OB・OG会副会長、理学博士
		中 澤 剛	元防衛省陸将補、(株)セブンイレブンジャパン勤務
		中 島 和 男	西南学院大学名誉教授
		中 原 淳 一	元読売新聞記者、東海旅客鉄道(株)勤務
		古 市 悟	元読売新聞西部本社編集局部長、元スポーツ報知西部本社取締役編集部長
理 事		安 藤 公 正	元学校法人西南学院職員
		緒 方 亮 一	日立グローバルライフソリューションズ(株) 第二営業本部 北日本法人営業グループ勤務
		中 村 美穂子	なかむら歯科こども歯科クリニック院長
	▽新任	納 富 昌 子	事業構想大学大学院大学客員教授、RKB毎日放送(株)エグゼクティブ・アドバイザー
		濱 屋 江 里	夢みるこども基金OB・OG会監事、ミニストップ(株)勤務
		三 原 怜 美	夢みるこども基金OB・OG会会長、歯科医師、歯学博士、小児歯科専門医
		森 山 日出夫	九州大学名誉教授
監 事	▽再任	長 田 行 生	元日本通運(株)常務執行役員・九州ブロック地域総括福岡支店長
		森 博 己	森博己税理士事務所所長
顧問弁護士		古 賀 和 孝	古賀・花島法律事務所所長、元日本弁護士連合会副会長
顧問税理士		吉 田 雅 俊	吉田雅俊税務会計事務所所長、梅光学院監事、学校法人福岡女学院監事、元西南学院常任監事
顧 問		八 尋 晋 策	元読売新聞西部本社論説委員・経済部長
参 与		古 川 洋	元(株)福岡放送専務取締役
事 務 局 長	▽再任	古 市 悟	(前記)



イメージキャラクター
はミング・はっくん

夢みるこどもキャンペーンの流れ

歯科医院
(患者様同意)や
個人の方が
不要になった
金属冠を寄付
回収は無料です

集まった金属冠を
金属塊に再生後
換金

換金された
リサイクル益金は
こどもたちの夢の実現
被災地や福祉の支援
海外支援に役立ちます

10月と11月が金属冠定期回収月間です

ご入会について

協力歯科医院の**お申し込みは随時受け付け**ています。15ページの登録用紙を切り取り、FAXにて送信してください。HPからも登録いただけます。**登録費、年会費はございません。**ご入会頂くと、直ちにポスター、ポリ容器をお送りします。金属冠を貯めていただき、基金事務局までお送りください。

金属冠は随時受付中

※送料は基金負担で回収いたします！

金属冠の回収は年間を通して受け付けていますが、特に**10月と11月を定期回収月間**としています。

少量しか貯まっていなくてもかまいませんので、

(基金事務局 092-400-0005)

へ電話してください。集荷申込はFAXでも可能です。

(事務局 FAX 092-400-0339)

歯科医院名、お電話番号、集荷希望日(翌々日以降)をご記載下さい。折り返しご連絡致します。

国税局の指導の下 運営しています

夢みるこども基金は金属の回収を正確、適正に行うために、金属冠は基金に直接送って頂いています。基金は設立時から国税局の指導を受けながら業務を進めており、協力歯科医院に対しては毎年度「夢みるこども基金だより」と一緒に決算書などを送付しています。金属冠を送って頂いた歯科医院などについては、その都度受領証と感謝状を送り、基金備え付けの帳簿に受け入れ年月日、重量などを細かく記録しています。課税関係などで問題が生じた時にも対応出来るようになっていますのでご連絡ください。

編集 後記

私事です、五月五日に突然病魔に襲われてようやく八月に退院しました。入院中、心がくじけそうになる時もありましたが、「夢みるこども基金の活動を続けて行きたい」という強い思いが自分自身を奮い立たせました。

今から30年前、当時50歳の

私は新聞記者の仕事の傍ら『夢みるこども基金』を立ち上げました。今まで大変なことも沢山ありましたが、毎年作文・絵で

寄せられるこどもたちの「夢」に感動し、イベントで出会うこどもたちの笑顔に勇気づけられ、基金の活動を続けてきて本当に良かったと心から思っています。

私にとって基金とは自分の生きがいであり、命と変わらません。これからも未来を担うこどもたちに期待を持ちながら、活動を続けて参りたいと思っています。

協力歯科医院の皆様、今後とも夢みるこども基金を宜しくお願い申し上げます。

(古市 悟)

